

2024年(令和6年)6月5日(水)第32回例会(通算3014回)

2023-24年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「奉仕の輪を広げよう」

会長：前原 博一 副会長：宮城 早人 幹事：今西 敦之
直前会長：大浜 勇人 副幹事：新里 裕樹 会場監督(SAA)委員長：新川 正人



世界に希望を生み出そう

2023-24年度RI会長テーマ

RI会長：ゴードンR.マッキナリー

栃木一夫ガバナー 地区基本方針

「持続可能な元気なクラブを実現しよう」

地区の合言葉

「ロータリアンの心に火をつけよう」

” Get the joy of Rotary”

今月のロータリーレート 1\$¥157

八重山の民謡

ウファラクイツイ

大浦越路節(二揚)

※大浦越路は崎山村と鹿川村の間にあつて「大浜峠・ユサバザヌ峠」と言う悪道の坂道である。役人が村を巡視する時村人は全員、美人の乙女達は籠の側方から付き添い役人の手を握って御供する習俗であつたその情景を「布ハユカバ・絹ヒチュカバ」布の上から歩くような気持ちだと表現し歌っている。また歌に出て来る「ナサマ」は鹿川村の美人でこの黒髪的美をナサマ美人の一つの美麗なる特徴と伝承している。なおまたこの美女の結婚に関する一種異なつたエピソードがある。このナサマ美人に思いを寄せた相手の男性は24キロも離れた古見村の満慶と言う者であつた。この満慶は思いを遂げたい一心であつたが、ナサマが一向に返事をくれないのであつた。ここに結婚の条件が提案されたのである女性の方は生芭蕉布を織る事一方満慶はくり船を新造し期限を厳守して二人の中心地である南風見村に持参すること。そしてこの約束が無事合格したら結婚すると言うものである。女性の方は合格したが満慶の船は艫繩を通す穴を開け忘れて不合格となつて二人は結婚できなくなつたものである。この歌あ1737年頃の歌だと伝承されている。(八重山民謡誌より)(詠人知らず)

●ウファラクイツイ ミツイ
大浦越路道 なか ゆさまざぬ 道 なか

(大浦越路と言う道に、ゆあまざぬと言う道に)

※イラ ヤウ ティバ シュヌ マイ ヤウ(以下同じ)

●なさま スヌ ミヤラビイチュ
なさま 布はゆかば 女童 絹 ひちゆかば

(ナサマ美人が布を敷き延べてあるかれ、乙女達が絹を敷き延べてあるから)

6のプログラム 6/5(水)会員卓話:垣本徳一氏 6/12(水)通常例会 6/19(水)会員卓話:西表浩司氏 6/26(水)納会

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

◇総会員数：57名（名誉会員2名・出席免除会員2名）

◇出席義務会員数：53名 ◇出席人数：31名 欠席人数：22名 出席率：58.49%

《司会進行：新川正人・玉城一吉》

◇ロータリーソング：手に手つないで 四つのテスト ◇ソングリーダー：南波正幸

◇ビ ジ タ ー：国際ロータリー第2760地区 一宮 RC：森島勝美様

◇メ ー ク ア ッ プ：森田安高 大城文博 新垣精二 佐久本達

◆会長挨拶◆
前原 博一



みなさま、こんにちは、本日も例会に参加頂きありがとうございます。今週で5月も終わりになります。

いよいよロータリーの年度末の6月になりますが、この6月は念願のハーリーの出場が予定されています。

ロータリクラブから2チームが結成されましたので、是非、2チームの出場が出来たらと思っておりますが、出場はくじ引きということで、狭き門ではありますが、2チームが圧力によるのではなく、公平に抽選に当選できるよう、今日からでも桃林寺に、当選できるようお願いに行きたいと思っております。

また、抽選前ではありますが、ユニホームを注文したり、大会前の決起大会を、決めたり大変盛り上がっていますが、抽選に外れたら6月のロータリーはどうなるだろうと少し心配でもあります。また、大変うれしいことに、東上里さんが、練習用のエークを作ってくれたということで、とても感動致しました。東上里さん本当にありがとうございます。

さて、少し話は変わりますが、自宅や会社にはいろいろな営業を含めた郵便物が届きます。

毎日のように届いた郵便物に目を通しますが、数日前、ある1通の郵便物に目が止まりました。それは「税理士事務所を承継しませんか」という案内のものでした。

税理士事務所を承継する案内の営業もあるのかと、少しびっくりしましたが、承継について少し現状を調べてみました。

全国的に後継者の不在が問題されていますが、その中で沖縄県は2011年から2020年まで一貫して全国で不在率がトップでしたが、2023年では、全国で5番目の水準で、以前に比べ事業承継の不在について改善されているそうです。

改善はされつつも、全国で5番目では、まだまだ沖縄県は不在者率が高い位置にあります。

また、業種別では、建設業、卸売、小売、運輸、通信業は低下傾向ですが、逆にサービス業は増加傾向の結果でした。

私はサービス業なので、事業承継をもっと早めに対応しないとイケないと感じました。皆様は、事業承継の方はどうでしょうか？進んでいるでしょうか？これからでしょうか？

1通の郵便物のきっかけで、自分の事業承継のことを考えるよい気づきでありました。

それでは本日もよろしくお願ひします。以上、会長あいさつでした。ありがとうございました。

◆ 幹事報告:今西 敦之 ◆

今日の例会も含めまして、前原年度もあと5回となりました。なんとなく嬉しいような感じがいたします。前原丸もいよいよ帰港に向けて舵をきる準備をしております。最後まで気を抜かず詰めて参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。今日はビジターとして一宮 RC の森島様、ようこそおいでくださいました。どうぞごゆっくりお過ごしくださいませ。この後、比嘉会員の卓話がございます。よろしくお願ひ致します。そして、今月号の「広報いしがき」の一面を飾られました西表浩司会員がカジキ釣りの初代チャンピオンということで紙面を賑わせていました。チャンピオンおめでとうございます！

本日の幹事報告は2点でございます。

- 1).岡崎南 RC より創立60周年記念式典祝賀会のお礼状が届いております。(読み上げ)
- 2).次週、第12回の最終理事会となっております。時間を変更しております。6/5(水)18:00よりアートホテル石垣島 2Fにて最終理事会及び新旧合同理事会を開催いたしますので、出席義務の会員の方はお時間を間違えないようにご出席をお願い致します。本日もよろしくお願ひ致します。

☆ 会員・委員会からの報告 ☆

国仲恵亮会員：来月にハーリーが開催されます。石垣 RC も出場することになりました。1月のマラソンに続いて2回目です。健康に向かって身体を動かしていこうということですので、ぜひ頑張ってください。今後のスケジュールのお知らせになります。まずは、6/3(月)決起大会を行いたいと思っております。場所は、さつきで19時からです。出場される方、また応援をして頂ける方はぜひご参加ください。練習は大会までに2回は出来たらいいなと思っております。練習の場所は、登野城漁港または新川漁港です。また大会当日は6/9(日)で、時間の詳細が決まりましたらお知らせいたします。その前に抽選がございますので、抽選で選ばれてからになります。今年は聞くところによると、100チーム余りの申込みがあるそうです。出場の方は、Tシャツも揃えますので、Slackにサイズのご連絡をお願いします。最後に、ハーリーの参加にあたって、東上里会員からエークを10本寄贈していただきました。ありがとうございます。出場されない方も応援を宜しくお願い致します。頑張ります！！

◆会員卓話：比嘉一史氏◆(琉球銀行八重山支店 支店長)

テーマ:これまでの銀行員生活を振り返って

社員育成・期待すること

こんにちは。まだ入会して6カ月なので自己紹介からさせてい

ただきたいと思います。

出身は名護市、年齢は 53 歳※1971 年 3 月生まれ、銀行には平成 5 年に入行いたしました。趣味:プロレス鑑賞、スキューバダイビング、最近ではキングス観戦にハマっています。経歴は、今のうるま市の赤嶺支店を皮切りに八重山支店で 11 カ店、2012 年に本部を経験いたしました。生い立ち、名護市で祖父がパンを作っていて、父がそれを手伝いながら、兼業をしてホテルで働いていました。母親が銀行員で嘉手納基地に勤めていたんですが、あの頃は高速道路が繋がってなくて、名護から嘉手納まで 1 時間半かかるので、母親の通勤が大変というところで、5 歳の時に宜野湾市に家を建てて移り住みました。父親が、那覇のグランドキャッスルに居たんですが、ここ石垣島の日航ホテルの開設準備で 2 年間、私が小学・中学校の時に石垣島に単身赴任で来ていました。学校は全て宜野湾市内の学校を出ました。学生時代はいろんなバイトをしました。舞台設営で照明を取り付ける足場を作ったり、大学 4 年の 10 月頃に、お金が欲しかったので、埼玉県で 3 ヶ月間の経験をいたしました。就職活動としては、なぜ琉球銀行だったのかと言いますと、うちの親父がちょうど石垣島から戻って来た時に、名護市で事業をするために、琉球銀行を利用して、自宅に銀行員が来て借入のアドバイスを受けていたということも選んだ理由でもあります。実は、消防士も合格はしたのですが、年収もぜんぜん違うので、収入も銀行を選んだ一つの理由ではありますが、母親が公務員よりもサラリーマンになりなさいといと、そういう強い希望もあったので琉球銀行に決めました。

☆入行～行員編:今では考えられないこと。営業室内や応接室に灰皿が常備されている。お客様も煙草を吸いながら相談している、夏でも背広、地獄のような飲み会、風説の流布と公的資金の導入。

学んだこと:行員編:・社会人として:学生の時は、いつ起きてもいいし、ダラダラとしていましたが、社会人になって、ちゃんとした生活習慣になりました。・幅広い年代との付き合い方:お客様でも同世代や自分のおじいちゃんおばあちゃんの年代もいますので、その年代に対する話し方やコミュニケーションの仕方というのを学びました。・地域での銀行が担う役割の大きさと銀行員としての自覚・情報収集の大切さ・学生時代の友人との飲み会・学生時代の友人との飲み会:友人も就職しているいろんな企業に入って、そこで友人たちと集まって飲み会のなかでの情報収集や、いまでもその友人たちとのモアイは続いていますけれども、今では出世しているメンバーも沢山いますし、そういうところで仕事をする事の大切さを学んでいます。

副長編:管理職になって最初に宮古島に 3 年間行きました。ずっと沖縄本島で育ってきたので、一人暮らしというところで、戸惑いもありましたが、結婚はしていましたが、一人暮らしも楽しいなということも感じました。・初めての部下:初めての部下をもって、一人一人特徴があったり、支店長の部下の中間管理職というところで、話には聞いていましたが、中間管理職って大変なんだなと思いました。支店長の上司がいて、部下の反発があって、

そのなかでの自分の役割というのも勉強になりました。他に、料理、洗濯、掃除もできるようになりました。次に、他人を評価する難しさというところで、銀行は 1 年に 1 回、行員一人一人にランクを付けて、そのランクが昇格に左右されますので、公平に見なくてはいけない。よく飲み会に参加してコミュニケーションをとる行員、仕事の上での協調性に欠ける行員、公平に評価する難しさがあります。

本部勤務・副支店長編:・ブロック統括副支店長の役割:今はもうないんですが、最初、副支店長に発令されたのが寄宮支店で、私は融資の統括副支店長で、あとは窓口も副支店長の管轄なので、今後、支店長を意識する上で、交渉とかいろんな役割について勉強になりました。・審査グループの役割:ここには 3 年いました。何を審査するかというと、融資の案件が上がってきたところを審査して、支店長権限の範囲を越えたところは全部審査グループにきます。審査グループには 4 人いて、案件が 57、8 件の案件がくるので、土日もない地獄のような、今でいうブラック企業と言いたいぐらいのところでした。そこで何を植え付けられるかということ、公的資金を経験しているので、絶対に不良債権を出さないというところを、部長、役員から植え付けられる。ですから支店から上がってきた案件は、まずは 1 回断りなさいという指示があるんですね。大きな案件になればなるほど、役員会でプレゼンをします。そこで、ボコボコに役員会にやられて、これが週に 1 回あるんです。営業店の立場もあるし、いろいろという経験をしました。・支店長職を意識したこと:本部に勤務して、銀行の組織の在り方や、副支店長を経験して、他店との連携、コミュニケーション、キツイ部分もありました。八重山支店は 3 回目なんですけど、八重山の支店長が一番何が楽しいかという怒られる人がいない、自分が最高の権限なので、そこはとても嬉しくて、他もいろいろ大変ですが、楽しい部分でもあります。

組織面では規律と管理が一番大事だと思っています。規律とは、ルールを守らせる、時間を守る、勤務時間に一生懸命働く、それが規律で、管理というのは、全てをコントロールしようということ、部下の一挙手一投足までコントロールすること。たとえを上げるとアメリカの軍隊は徹底して規律を守らせる、上司の命令は絶対に服従ということルール化するんです。ですから上司に背くことはできません。規律というのは、約束事を決めてその範囲では充分動けるようにするというのが規律。管理は、独断でも指示しなくてはいけない、指示通りに動いてくれというのが、規律と管理の違いです。もっと分かりやすくいうと、野球型組織とサッカー型組織があります。野球は、攻守交代がはっきりしているので、バッターの場合は、ランナーが出たら全部監督のサイン、ピッチャーもキャッチャーのサインなんですけど、キャッチャーのサインもベンチから出ているんです。これも管理型なんです。サッカーはどうかというと、規律をしっかりします。今日は、守っていかうとか右から攻めようとかバランスを取ろうとか、これを決めてピッチに入ると監督がいちいち言いません。広いサッカー場ですので、選手は監督の方を見る余裕がないので、そこは選手同士でコミュニケーションを取りながら、出た選手がちゃんと

約束事を守って、そのなかで修正していく。テクノロジーやIT、グローバル化などの変化が激しい時代においては、サッカー型の方が非常に有効であるといわれています。やはり部下に責任を持たせて、その責任の範囲でルール、規律をしっかり守って、その間は自分で考えながらやってくださいと、僕の支店長としてのところかなと思っています。自分でいろいろやってしまうんです。本当は部下にさせないといけないのに、お客様の手前もあるし、そうすると部下が経験しないし、部下が頼ってしまう、あえて付け放して部下にさせて、報連相を徹底させてということ意識しています。

最後に、人材育成と後輩に期待すること。世代と世代との溝、先週、実は卓話は私だったんですが、晋作さんに代わってもらったんですけど、急にセミナーが入って、そのセミナーの内容がZ世代への対応というセミナーだったんですが、Z世代はどういう世代かということ学んだセミナーでした。若いZ世代と言われている職員は、基本的にはテレビはつけません。ほとんどがYoucubeでネット配信のもの。褒められると嬉しい、求められたら嬉しい。美味しいという共通ワードはあっても考え方が全く違うということをセミナーで教えられたので、ここはちゃんとZ世代も意識しながら自分のカラーも出していかうかと考えています。

好きな言葉：野村監督の言葉なんですが、『勝ちに不思議な勝ちあり、負けに不思議な負けはなし』、失敗を謙虚に反省すれば必ず原因が見つかります。失敗は必ず原因があるので、運が悪かったとか、ついてなかったとかで片付けがちなんですけど、失敗した場合には必ず原因があるし、失敗しないのは普段から努力を続けて、当たり前前の方が当たり前前のできるようなことになれば運もついてくる、その言葉の裏側というのはそういう意味があると思います。私のモットーとして、悩んだ時に自分なりに考えて、自分が納得した答えを実践して、その時に結果が出るので、その時に結果が出なくても出ているんです。ここまでやって、

なるようにしかならないので、なんくるないさーと思うようにしています。ただそのなんくるないさーと言う前には、自分なりにしっかり考えていきたいと思っています。ここの暮らしも何年になるかは分からないですけども、八重山地域の為にもそうですが、ロータリーを通じて皆さんといろいろ情報交換しながら、八重山支店もしっかり実績を残せるように頑張っていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

ビジター挨拶：森島勝美様(国際ロータリー第 2760 地区一宮 RC) 初めまして。最近石垣島へよく来る機会ができて、というか作って来ています。一宮 RC は 1949 年、戦後初めてできたクラブということで、それをキャッチフレーズにしているクラブであります。愛知県に来られた時はぜひお寄りいただければと思います。私は、介護リフトを作っています。高齢者と障害者の生活を豊かにするという大きな目標を持って、日本中に介護リフトを普及したいと思っております。どなたもが体験しなければいけない、必然性がありますけれども、必ず年をとって身体が動けなくなります。最後の充実した生活を送るためには、必ずそういうリフトが必要になるんですね。残念ながら石垣島には 1 台も入っていません。私は会社の会長をやっておりますけれども、これからの使命として石垣島をしっかりと豊かな介護生活を送れるようにしたいという勝手な夢を持ちまして、これからも 2 ヶ月に 1 回ぐらいは来たいと思っておりますけれども、勝手に押しかけて高齢者、障害者のお役に立てるような仕事をしたいなと思っております。3 月に来た時、新聞にも紹介してもらいました。また、書籍に奇跡の介護リフトというテーマの本なんですけど、リフトは大切だよということをお伝えしたい思いで書いたんですけど、今日お持ちいただきましたので、暇な方がおられれば是非お読みいただいお役に立てればと思っております。今日は、宮良榮子さんにご縁をいただいて、試していただいているところなんですけど、これからもお世話になると思いますので宜しくお願い致します。



比嘉一史会員 卓話ありがとうございました。



森島勝美氏 ご来会ありがとうございました。

- 本日のニコニコ：** ☆森島勝美様(一宮 RC)：希望ヶ丘の宮良さんにご縁を頂きました。今後ともよろしくお願いします。
☆前原博一会长：比嘉さん、卓話ありがとうございました。森島さん、本日はメイクアップありがとうございました。
☆今西敦之幹事：一宮ロータリークラブ森島様 ようこそおいでくださいました。比嘉会員、本日は卓話よろしくお祈り致します。西表浩司会員、初代チャンピオンおめでとございます。☆上勢頭保氏：比嘉一史琉銀支店長の人材育成、頑張りに感謝！
☆橋本孝来氏：比嘉さん、卓話ありがとうございました。 ☆宮城早人氏：比嘉支店長、素晴らしい卓話ありがとうございました。森島さん、今日はメイクアップありがとうございました。☆新川正人氏：比嘉会員、卓話お疲れ様でした。
☆岡崎南観光代金の残金ニコニコします。

◆BOX7,000(累計¥551,440) ◆コイン¥3,368(累計¥55,008) 合計¥606,448

6月

黒島栄作氏 3日(月) 新城永一郎氏 10日(月) 前原博一氏 22日(土) 中山義隆氏 26日(水)

